資料1

第3期まつやま圏域未来共創ビジョン（案）

＜計画期間＞
第1期　2016年度(H28)～2020年度(R2)
第2期　2021年度(R3)　～2025年度(R7)
第3期　2026年度(R8)　～2030年度(R12)　※策定中

＜構成自治体＞
松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町

第３期まつやま圏域未来共創ビジョン（案）について

ビジョンの成果・課題の整理

- 第2期ビジョンの振り返り
- 各種調査結果の整理と分析

「地域の未来予測」の作成

- 人口・経済・インフラなどの将来推計を整理した「圏域の未来予測」を共同で作成し、「圏域の将来像」を議論

住民アンケート調査の実施

- 圏域住民を対象に多様な世代から圏域づくりに向けての意見を聴取

連携市町、
外部組織者
との意見交換

第3期
まつやま圏域
未来共創ビジョン
策定

第３期まつやま圏域未来共創ビジョン（案）について

松山圏域の将来像

～四国カルストから道後、瀬戸内へ～

やま・まち・うみ・ひと、暮らし彩るみんなの松山圏

●松山圏域は、市街地からベッドタウン、山間農村部まで多彩な地域があり、サービス・製造・農林水産業がバランスよく存在する多様な産業構造を持っています。

●地域固有の歴史や文化、山林や瀬戸内海などの豊かな自然環境に恵まれており、里山・里海から得られる多彩な農林水産物をはじめ、観光資源など、全国・海外市場に展開できる魅力的な特産品が数多く存在しています。

●このような地域特性を活かし、地域の人口減少・高齢化という構造的課題に対応しながら、多様な人材が活躍できる環境づくり、暮らしの質の向上、そして圏域全体の持続性とレジリエンスの強化を目指します。

●その実現により、住民の幸福感や満足度のほか、圏域外の人にとっての魅力を向上させ、結果として、人口減少の緩和につなげる。

第３期まつやま圏域未来共創ビジョン（案）について

基本方針(案)

現行の基本方針をベースに、外部組織者の意見等も踏まえて、一部更新

分野	基本方針
経済成長のけん引	①市町の特長を生かした一体的な産業振興と企業活動支援
	②農林水産物のブランド化と６次産業化による販路拡大
	③山・街・海をつなぐ広域観光の推進
高次の都市機能の集積・強化	①安全・安心の圏域づくり
	②広域的公共交通網の構築と圏域拠点の整備
生活関連サービスの向上	①医療・介護・福祉サービスの充実
	②結婚・出産・子育て支援の充実
	③圏域住民の活力創出 【更新】
	④地域レジリエンスの強化 【更新】
	⑤環境保全施策の推進
	⑥暮らしたい・戻りたいと思える圏域づくり
	⑦圏域内行政サービス効率化等の推進

第３期まつやま圏域未来共創ビジョン（案）について

具体的連携取組（予定）

基本方針（案）を踏まえて、新たに以下の連携取組（案）を検討

分野	新たな連携取組（案）
経済成長のけん引	地場産業の活性化と中小企業の振興
	働く場所や機会の創出
	インバウンド観光の推進
	観光 DX の推進
生活関連サービスの向上	地域コミュニティの活性化
	広島広域都市圏との連携推進
	地域防災力の強化
	危機事象への相互支援の推進
	地域公共交通ネットワークの連携推進
	自治体 DX の推進

今後のスケジュールについて

令和7年	11月中旬	第3回松山圏域活性化戦略会議専門委員会
	11月21日	第3回地方創生推進本部会議でビジョン案を報告
	11月下旬	第2回松山圏域活性化戦略会議（書面）
	12月下旬	パブコメを実施
令和8年	2月	第1回松山圏域連携協議会
	3月	第3回松山圏域活性化戦略会議（書面）
	3月	変更連携協約の議決、連携協約締結
	3月	第3期まつやま圏域未来共創ビジョン　策定

（計画期間：令和8年4月～令和13年3月）